日調連発第４５５号
平成２３年3月２４日

各ブロック協議会長　殿
各土地家屋調査士会長　殿

日本土地家屋調査士会連合会
災害対策本部長　松　岡　直　武

東北地方太平洋沖地震による各地の状況について（連絡）

本月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による各地の状況につきまして、本日、連合会に寄せられた情報は、別紙のとおりですので連絡します。

別　紙

東北地方太平洋沖地震による各地の状況

平成 23 年 3 月 18 日更新

3 月 11 日	静岡会	全支部長宛てに被害の報告をお願いしたが、17 時現在、被害報告はない。 静岡会会館も物が落ちるといったこともなく、無事である。
	長野会	17 時現在、被災の報告は入っていない。
3 月 12 日	福島会	現地災害対策本部を設置した。 被害が大きい浜通り地区の会員 50 名のうち 36 名について連絡がとれていない。
3 月 13 日	福島会	福島第 1 及び第 2 原子力発電所事故に伴う避難者は 14 名（ただし、安否の確認はとれていない。）
3 月 14 日	茨城会	日立支部・鹿行支部の一部と、茨城の海岸沿いの会員と連絡がとれない状況
	山梨会	被災会員はなし
	京都会	被災会員はなし
	兵庫会	被災会員はなし
	愛知会	被災会員はなし
	佐賀会	災害発生なし
	熊本会	津波被害なし
	宮城会	3 月 13 日午前 10 時 30 分に地震対策本部を設置した。 14:15 現在の安否確認については、全部で 282 名の会員のうち無事の確認が取れたものが 113 名である。 沿岸の支部は、石巻支部 25 名の全員、気仙沼支部 16 名の全員について連絡が取れていない。塩釜支部 19 名のうち 7 名の無事の確認が取れた。 会・協会の二つで対策本部を立ち上げ、会長を中心に両会連携して対応している。 メール及びインターネットが、会・協会ともにつながらない状態である。

	福島会	現時点での会員の安否状況については、会員300名のうち250名は安否を確認したが、残り50名の安否確認ができていない。 連絡が取れない会員は、福島第1及び第2原子力発電所の事故で避難しているものと思われるが、避難場所は中通り（福島県を縦に浜通り，中通り，会津地区に分かれている。）の各地区に分散されているので、各避難所を個別に当たるなどして連絡の取れない会員を探している状態である。
	山形会	被災会員はなし
	高知会	被災会員はなし
3月15日	宮城会	282名の会員のうち無事の確認が取れたものが162名である。 石巻支部は、25名のうち1名について無事の確認がとれた。（避難所に名前が張り出されていたことによるものである。） 気仙沼支部は、16名全員について連絡がとれていない。 塩釜支部は、19名のうち10名について無事の確認がとれた。 石巻及び気仙沼は、公衆電話も通じないようである。
	福島会	会員の安否確認について、まだ23名の確認がとれていない。 今後も総力をあげて会員を捜す。
	山形会	3月14日に「東日本大震災救援対策本部」を設置し、今後各会への救援対策について検討している。 救援物資の運送、義援金について会員に通知した。
	岩手会	3月14日に現地対策本部を設置した。 会員の安否確認を考えられるあらゆる手段を

		講じて行っている。 　会員の被災状況については、ホームページに掲載（被害が甚大な沿岸部の会員の状況については、不確定部分もある。）するとともに、会員には逐次連絡をとっている。 　会員に現地対策本部の設置について通知し、沿岸部の会員の安否情報を知り得た場合は本会まで連絡するようお願いしている。 　また、国道封鎖とガソリン不足のため、役員が集まることができない状況にある。
	青森会	死亡者・負傷者はなし 　事務所の基礎にひびが入った報告を受け現在調査中。
	釧路会	被災会員はなし
3 月 16 日	埼玉会	現在のところ被災会員はなし
	和歌山会	被災会員はなし
	愛知会	救援物資を用意し、3 月 15 日に岐阜会に運送をお願いした。同時に新潟会あて宅急便にて発送した。
	三重会	救援物資を用意し、3 月 15 日に新潟会あて発送した。
	岐阜会	救援物資を用意し、3 月 15 日に愛知会提供の救援物資とともに、岐阜会員 4 名によりレンタカー2 台で新潟会へ向け出発した。
	島根会	被災会員はなし
	長崎会	現在のところ被災会員はなし
	宮城会	282 名の会員のうち無事の確認が取れたものが 210 名である。（午後 1 時現在） 　石巻支部は、25 名のうち 4 名について無事の確認がとれた。（ただし、ネットへの掲示によるものである。） 　気仙沼支部は、16 名のうち 13 名について無事の確認がとれた。（ただし、1 名は直接連絡がと

		れたが、他の 12 名はネットへの掲示によるものである。） 塩釜支部は、19 名のうち 12 名について無事の確認がとれた。 現時点で判明した事務所又は自宅の状況については、仙台支部で自宅全壊 1 名、気仙沼支部で事務所全壊が 4 名、事務所半壊が 3 名、自宅全壊が 12 名、塩釜支部で事務所又は自宅のいずれか全壊が 1 名である。
	福島会	会員 300 名のうち、23 名と未だ連絡がとれていない。（死亡・怪我等の連絡は入っていないので、おそらく避難所又は県外に非難しているものと思われる。）
	秋田会	会員の被災状況については、現在確認中。 災害対策本部を設置し、救援対策について検討している。 秋田会横手支部を中継点として、岩手県北上市に救援物資を運送することとしている。 全会員に協力依頼をしている。
	岩手会	秋田会から運送される救援物資を北上市の会員事務所において保管することとしている。
	函館会	被災会員はなし 本日、救援物資を連合会あて発送した。
3 月 17 日	神奈川会	会員１名の事務所ビルの壁が落下、会員、事務員の方もけがはないが、事務所内は机・パソコン台などは倒れ足の踏み場もない状態でそのビルでは今後事務ができないとのこと。
	千葉会	会員の被害状況については，現在調査中であり、取り急ぎの報告とする。 全会員の安否確認は取れている。 一部地域の会員の事務所又は居宅で損壊等の被害が出ている。ライフラインで水道が復旧していない地区がある。なお、現在、会員に被害状況

		の報告を求めている最中である。 　当会会館においては、壁の亀裂等 100 万円程度の被害を受けている。
	茨城会	現在、日立支部（高萩市・北茨城市）の会員の連絡はついていない。 　鹿行支部（神栖地区）津波の関係で避難している会員がまだいる。 　水戸市役所から被災地の調査の協力があり、水戸支部長を中心に水戸地区から会員 20 名が協力している。特に被害が大きいと思われる神栖市・日立市・北茨城市・高萩市・大洗町にお見舞いと必要な協力があれば対応したいと申し入れた。 　ガソリンの確保が困難であり、昨日は 5 時間かかり給油した。
	静岡会	被災会員はなし 　富士宮での地震については、安否確認は全員確認できたが、建物・物損等の状況は現在確認中である。
	福井会	3 月 16 日に救援物資を新潟会あて発送の手続をした。
	石川会	3 月 16 日に救援物資を宅配便で新潟会あて発送した。
	福岡会	被災会員はなし
	佐賀会	本日、救援物資を宅配便で連合会あて発送する。
	熊本会	本日、救援物資を連合会あて発送する。
	宮城会	282 名の会員のうち無事の確認が取れたものが 238 名である。（午前 9 時現在） 　石巻支部は、25 名のうち 12 名について無事の確認がとれた。（ただし、ネットへの掲示によるものである。） 　気仙沼支部は、支部長から連絡があり、16 名のうち 15 名について無事の確認がとれた。

		塩釜支部は、19 名のうち 17 名について無事の確認がとれた。 気仙沼方面は一般道路しか通れない。途中の橋が通行禁止となり迂回しなければならない。
3 月 18 日	東京会	連合会からの要請を受け、「緊急通行車両等の許可」を取得し、運送準備をしている。 明日、出発する予定である。
	栃木会	人的被害無し。 県内全域で被害が出ている。特に、県北・県東地域の被害が大きい模様。家屋壁のクラック・屋根瓦の落下・大谷石塀の倒壊・墓所の倒壊等が多い。また、県内各地でガソリンの不足による混乱が生じている。
	新潟会	新潟会に 16 日、「東北地方太平洋沖」及び「長野県北部」地震災害対策本部を設置した。 東北地方太平洋沖地震による被害会員なし。 長野県北部地震による物的被害が 5 名あり。
	愛知会	3 月 17 日に救援物資を新潟会あて宅急便にて発送した。
	広島会	被災会員はなし
	長崎会	救援物資は次週より菓子問屋にて袋詰作業をし、1 週間前後で発送できる見通し。
	大分会	被災会員及び津波等被害の報告はない。 本日、救援物資を連合会あて発送する。
	福島会	大きな災害の中で、幸いにも 3 月 18 日午前 9 時時点で福島会会員の人的な被害は報告を受けていない。ただ、連絡のつかない会員(避難しているものと思われる)が 13 名ほどで、引き続き安否を確認している。 いわき支部の会員 1 名は、海のそばに住居と事務所があったため、大津波によって全て流され、現在、埼玉県深谷市に家族で避難しているとのこと。対策本部を通じて埼玉会の協力を得て当会員

		への状況確認を含めて訪問支援をお願いしたい。
	宮城会	全会員の無事の確認が取れた。 安否について、直接連絡ができた会員と、間接に聞いた会員との整理を始め、間接での無事の確認は 10 名である。 連合会から通行証の交付を受け、自動車道路を走れるようになりルートの選択が多くなった。 水道が復旧すると水が不要になり、運送のポリタンクのみが必要になる。間もなく電気が復旧するようであるので、本日は食料を第一に配送した。
	岩手会	午後 2 時現在、宮古支部 27 名のうち 14 名について無事の確認がとれた。 確認がとれていない 13 名のうち 9 名については情報が寄せられているが未確定である。 他の支部の会員については、すべて無事の確認がとれている。（岩手会ホームページから）
	秋田会	被災会員はなし。 横手支部で救援物資の受け入れ体制が整った。

東北地方太平洋沖地震による各地の状況

平成 23 年 3 月 22 日更新

3 月 19 日	福島会	会員の安否については、19 日の時点で 9 名の確認がとれていない。今後も連絡がとれない会員を全力で探す。 なお、各会からいただいた支援物資をいわき支部会員に届けるため、本日 9 時 30 分副本部長他 3 名で出発した。
3 月 20 日	福島会	20 日の時点で 2 名の確認がとれていない。今後も連絡がとれない会員を全力で探す。
3 月 21 日	愛知会	3 月 20 日に 3 支部からそれぞれ救援物資を福島会（近隣の営業所留）あて宅配便にて発送した。
3 月 22 日	愛知会	3 月 21 日に 6 支部からそれぞれ救援物資を福島会（近隣の営業所留）あて宅配便にて発送した。
	富山会 富山協会	本日、救援物資を宮城会、福島会、岩手会（いずれも近隣の営業所留）あて宅配便にて発送した。
	福岡会	3 月 17 日に救援物資を連合会あて発送した。
	札幌会	被災会員はなし。 現在、会員へ義援金をお願いしている。まとまり次第、連合会の義援金口座へ振り込むこととしている。

東北地方太平洋沖地震による各地の状況

平成 23 年 3 月 23 日更新

3 月 23 日	沖縄会	3 月 23 日に救援物資を連合会あて発送した。
	岩手会	午後 1 時現在、宮古支部 27 名のうち 22 名について無事の確認がとれた。 確認がとれていない 5 名のうち 3 名については情報が寄せられているが未確定である。 （岩手会ホームページから）
	旭川会	3 月 16 日に救援物資を連合会あて発送した。 現在、旭川会義援金口座を開設し、会員へ義援金をお願いしている。集まった義援金は、連合会へ送金することとしている。

別　紙

東北地方太平洋沖地震による各地の状況

平成 23 年 3 月 24 日更新

3 月 24 日	大阪会	3 月 15 日に義援金振込口座を開設し、同月 16 日に全会員に向けて義援金募集文書を発送した。 同月 17 日に会員有志が救援物資を被災会へ搬送した。 同月 23 日会員からの義援金（第 1 期）をとりまとめている。
	岐阜会	会員有志が救援物資を用意し、3 月 19 日に大阪会・愛知会・三重会の各会員有志から提供の救援物資とともに、岐阜会員 2 名により新潟会へ搬送した。
	岩手会	午後 2 時現在、宮古支部 27 名のうち 25 名について無事の確認がとれた。 確認がとれていない 2 名のうち 1 名については情報が寄せられているが未確定である。 （岩手会ホームページから）
	青森会	3 月 14 日に災害対策本部を設置し、本日、会員に義援金募集の文書を発送した。